



## シャントってなあに？

シャントとは透析患者さんが血液透析を行うためになくてはならないものです。バスキュラーアクセスともいい、動脈と静脈を手術で直接つないで作製します。

このシャントは、本来なかった血液の通り道を人工的に造っているので様々な要因によってトラブルが起こる可能性があります。

このような**シャントトラブル**を未然に防ぐためには患者さんご自身が、シャントについて理解しどんなことに注意して生活をしたらよいのかを知る事がとても重要です。

## ～シャントトラブルについて～

### ① シャント狭窄

→シャントが狭くなっている状態です。

- シャント音が弱い、すきま風のような高い音がする（ヒューヒュー・ピーピー）音が短い
- スリル（血管が振動する音）が弱い
- シャント側の腕のむくみ、しびれ



### ② シャント閉塞

→シャントが完全に詰まっている状態です。

- シャント音がしない
- スリル（血管が振動する音）が触れない
- シャント血管が硬い、赤い、痛い
- シャントのつなぎ目だけがドクドクと拍動を感じる

### ③ シャント感染

→シャントが細菌に感染している状態です。

- 痛みがある
- 赤く腫れる
- 膿が出る



## シャント閉塞・狭窄を防ぐためには

### ◎シャント側の腕に余計な衝撃を加えない

重い荷物を持たない・ぶら下げない・手枕をしない・体の下にして圧迫しない  
叩かない・ぶつけない・腕時計やブレスレットをつけない・血圧測定をしない  
シャツの袖は緩めにする

### ◎体重増加に注意する

除水量が多いと血圧低下を引き起こし、シャントの血流も低下する

### ◎脱水を予防する

定期的な水分摂取をする

（夏場はたくさん汗がでて脱水になりやすいので注意！）

## シャント感染を防ぐためには

### ◎シャントを清潔に保つ

手洗いを十分に行う・透析日の入浴は出来るだけ控える・止血パッドは翌日には剥がす

### ◎乾燥を防ぐ

お風呂の温度はぬるめに（40度前後）・強く擦らない・保湿をする

クリニックでは定期的なシャントへの超音波（エコー）検査を実施することで適切な時期に血管拡張術（PTA）が実施できるようにしています。

シャントが閉塞した場合は、シャントを作製した医療機関で（丸子中央病院など）で手術が必要です。



今回はシャントについてお伝えしました！  
これから暑い日が続きますが、夏は特に脱水が原因によるシャント閉塞の事例が多くなる時期です。毎日1日1回はご自身のシャントを**観て・聴いて・触って**、シャントの小さな変化に気付けるようにしましょう！  
分からないことや不安なことがあれば、スタッフにお声がけください。